

CT検査を受けられる方へ

ID: _____

患者氏名: _____ 様

あなたの検査日時は、_____からの予定です。

検査当日は、開始予定の15分前までに受付を済ませ、

この用紙を、放射線科受付に提出してください。

※緊急検査等により検査時間が前後する場合がありますので、ご了承ください。

1. 検査の必要性

あなたの病気の診断、治療方針の決定、経過観察のために必要です。医療における放射線は、正しい目的のため（正当化）、目的に応じた放射線量（最適化）、可能な限り達成できる少ない放射線量（線量制限）の原則の下、利用されます。放射線検査に使用される放射線量は適切に管理されており安全です。検査部位に応じて被ばくはありますが、画像情報が有益と判断したため今回の検査を行います。



2. CT検査とは

CT検査とは、コンピュータ断層撮影法（Computed Tomography）の略です。装置が回転しながら人体にX線を当て、その情報をコンピュータ処理して鮮明な輪切り画像を得ることが出来ます。短時間で広範囲を検査することが可能であり、薄い輪切り画像を重ね合わせることで立体的な画像（3次元画像）を作ることにも出来ます

3. 検査前のご注意

● 食事・内服について

食事・内服 制限あり		食事・内服 制限なし
午前検査の方	午後検査の方	
● 検査当日の朝は 食事をしない てください。 (水・お茶は飲んで構いません)	● 検査当日は 午前8時まで に 朝食・内服を済ませてください。 (水・お茶は飲んで構いません)	検査前日・当日の 食事・内服の制限は 特にありません。
● 血圧・心臓の薬のみ 、 内服してください。	● 昼に血圧・心臓の薬を内服している方は 少量の水で内服してください。	

※ 【注意事項】 ※

- 撮影する部位に金属（ヘアピン・ネックレスなど）がある場合には取り外して検査を行います
- 妊娠している方または可能性のある方は事前に医師または看護師へ必ずお知らせください。
- ペースメーカー・ICD(植込み型除細動器)・CRT-D(両心室ペーシング機能付植込み型除細動器)を挿入されている方は事前に医師または看護師へ必ずお知らせください。

4. 放射線被ばくに関する危険性と当院の取り組み

- 100 ミリシーベルト (mSv) 以上の被ばくでは、被ばく線量の増加とともに、発がんのリスクは上昇します。しかし、100mSv 未満の被ばくでは、明らかな発がんリスクの上昇は認められていません（確率的影響）。
- 100mSv 未満の被ばくでは、脱毛や皮膚障害など明らかな障害を認める事はありません（確定的影響）。
- 診断を目的とした通常の CT 検査では、1 回の被ばく線量が 100mSv を超えることはありません。
- 当院では、診断に必要な画像を可能な限り少ない放射線量で検査をするよう努めています。これらは、公的機関より提示されている指標（診断参考レベル DRLs）等を参考に検討を行っています。
- お子様の場合は、体格を考慮して大人よりも少ない放射線量で検査をしています。

1 回の撮影における実効線量 (mSv)

撮影部位	当院 (mSv)	診断参考レベル(DRLs)
頭部	2.5	2.8
胸部	2.3	7.1
胸部～骨盤	9.4	18
腹部～骨盤	5	13.2

※ICRP publ.102より換算